



さて、今回は受検の際に高校に提出する『調査書』について説明します。『調査書』は皆さんの中学校での学習成績やさまざまな活動の様子を記録した書類です。したがって『調査書』の内容を理解することは、日々の活動の中でどのようなことを意識すればよいか、ということにもつながってきます。しっかり理解して、日々の活動をさらに充実させてほしいと思います。

★『調査書』の各項目ごとの記述内容について

B 出欠・健康の記録

- ・「欠席日数」には欠席日数を、「備考」には欠席理由を記入します。3年の出欠については、公立前期選抜・私立を受検する場合は12月中旬まで、公立後期選抜を受検する場合は1月中旬までの日数を記入します。
- ・「健康の状況」については、高校で活動する中で特別心配なことがある場合に、そのことについて記述します。ですから、理由なく遅刻することが多いなどの場合はそのことについて記述することもあります。

C 各教科の学習の記録

- ・1～3年の各教科ごとの年間を通じた評定（1～5の5段階）を記入します。通知表の評定とは必ずしも同じではありませんが、それほど大きくは変わらないと思います。ですから、通知表の評定を目安に考えて下さい。

D 総合的な学習の時間の記録

- ・1～3年の総合的な学習の時間での学習の様子について記述します。具体的には、地域の先輩に学ぶ講座、自然体験学習に向けた学習、職場体験学習、人権についての学習などでの特に頑張っていた様子を記述します。

E 特別活動の記録

- ・1～3年の学級活動（係活動など）、生徒会活動、修学旅行での係活動などの、役職や頑張っていた活動の様子について記述します。

F 行動の記録

- ・それぞれの項目のなかで、特に優れていた項目に3つ○印をつけます。
- ・基本的な生活習慣＝礼儀正しく節度を守った生活ができる（あいさつ、整理整頓、時間を守る、身だしなみ、言葉遣いなど。）
- ・健康・体力の向上＝心身の健康を保ったり、体力向上に努力できる。
- ・自主・自立＝物事を自分で考え的確に判断できる、計画を立てて根気強く努力できる。
- ・責任感＝自分の役割を自覚し誠実にやり抜き、その結果を自分でしっかり受け止められる。
- ・創意工夫＝探究心を持ち、自ら新しい考えや方法を見つけ、自分の個性を生かし工夫した生活ができる。
- ・思いやり・協力＝誰に対しても思いやりと感謝の気持ちを持って、ともにより良く生きようとする事ができる。
- ・生命尊重・自然愛護＝自然や自他の生命を大切にできる。
- ・勤労・奉仕＝自分のやるべき仕事や奉仕活動に進んで取り組むことができる。
- ・公正・公平＝誘惑に負けず正しいことを行い、差別や偏見を持つことなく公平に行動できる。
- ・公共心・公德心＝きまりを守り、進んで社会のために尽くすことができる。

G 総合所見及び指導上参考となる諸事項

- ・1～3年の、部活動や社会体育・文化活動での成績（大会やコンクールでの成績、またその時の役職やポジション、担当など）、取得した資格（英検や漢検の級など）、ボランティア活動での様子などについて記述します。

- ・将来の進路についての希望やそれに関わってその高校で特に頑張りたいと考えていることなども必要に応じて記述します。
- ・中学校での生活の様子の中で、高校に伝えておいた方が今後の高校での生活に役立つと思われることも必要に応じて記述します。

☆ 別紙で昨年度の高校入試で使用した調査書を配布しました。記入をしてみましょう。

♥ 記入が終わったら、まとめをします。

1. 書いてみての感想

2. これからの学校生活での改善点や頑張りたいことなど（これからしっかり身につけたいこと）

3. お家の人から
お忙しいところ恐縮ですが、子ども達を書いた調査書を見て、コメントをお願いします。

ありがとうございました。

※ お家の人にコメントを書いてもらった進路通信と自分で書いた調査書は
6月8日（月）まで担任の先生に提出をしましょう。

※ 進路関係の書類はすべて重要書類となります。期日までにしっかり提出出来る習慣を身につけましょう。